

しなののうた

梅雨晴れの  
大座法師池に  
映りたる飯  
縄山は深く  
鎮もる

l. NI

杉田小百合

しなののうた

葦切とときおり鳴ける鶯の声

渡りゆく飯綱高原

杉田小百合



しなののうた

人影も疎らな池のほとりにて  
清清しさに潤いおりぬ

l. NI

杉田小百合

しなののうた

シーズンを待ち侘びるがに幾艘の白きボートがゆるゆると浮く

杉田小百合



しなののうた

池にある夢の浮き橋渡るれば揺れに揺れたり我には悪夢

l. NI

杉田小百合